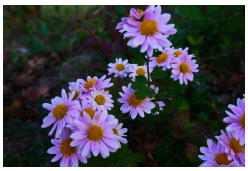
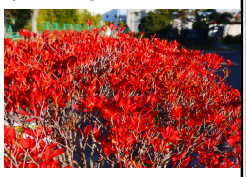
須賀川市立第一小学校　学校だより　No.6　　令和　5年12月　5日

桜水 2023



学校内の草花（１２月）

【教育目標】　何事にもすすんで取り組み、気概をもって立ち向かう、心豊かな児童の育成をめざす
○　心の豊かな子ども（交流）　○　健康でたくましい子ども（挑戦）　○　意欲的に考える子ども（自立）

師走。12月に入り、朝夕の寒さが一段と身にしみる日々が続きます。

さて、10月28日は保護者の皆様に参観いただき、大成功のうちに桜水発表会を終えることができました。発表会に向けて、子どもたちは短い期間の中、一番いい姿を保護者の皆様に見てもらおうと頑張ってきました。教職員も一丸となって子どもの背中を押し、子どものがんばりを支えてきました。どの学年も「その学年らしさ」を精一杯出し切ったと思います。特に、さすが6年生。最高の演技で、発表会を大いに盛り上げてくれました。各学年とも一人ひとりが色とりどりにきらきら輝いていたし、演技する姿から無限の可能性を感じさせられました。大熱演だった子どもたちを教職員一同誇りに思っています。当日まで子どもたちを励ましてくださいました保護者の皆様、駐車場の整理等に当たってくださいましたPTA役員の皆様に改めて感謝申し上げます。

また、現在学校は保護者の皆様に来校いただき、個別懇談を実施しています。学校としましてもお子様の学びと育ちにつきまして責任を持って教育活動に当たっていきたいと考えています。懇談の際は忌憚のないご意見、ご要望をお話しくださいますようよろしくお願いします。

インフルエンザが猛威を振るっています。本校でもいくつかの学級で学級閉鎖の措置をとらせていただきました。学校でもできる限りの感染防止対策をとってまいります。ご家庭でのご協力につきましてもよろしくお願いします。

（校長　菅野　哲哉）

第一小学校　桜水発表会 2023
演技や音楽にのせて。届け！わたしたちの思い

紙面に限りがありすべてをお伝えできず申しわけないです。当日の演技・演奏については、すでに配布しました各学年だよりやホームページをご覧ください。ホームページはスマートフォンから手軽にご覧いただくことができます。

Photo Digest　一生懸命な子どもの様子です。

No	学年	発表内容・演目等	ひとこと（各学年の学年だよりより引用）
1	3年	『Smile for you！　元気いっぱい３年生！』 ・斉唱　「小さな世界」 ・リコーダー奏　「この曲なあんだ」「レッツゴーソーレー」 ・ダンス　「怪獣の花唄」	練習を重ね、日に日にリコーダーやダンスが上手になる姿に子どもたちの成長を感じることができました。緊張を力に変えて精一杯の発表ができました。保護者の皆様の励ましの言葉と温かい眼差しで参観してくださったからと感謝申し上げます。
2	4年	『感謝　～届けよう、わたしたちの元気～』 ・ダンス　「よっちょれ」 ・歌　「TODAY」「１０才のありがとう」 ・リコーダー奏　「もののけ姫」	ぼくたちには夢がある。私たちには未来がある一。「感謝」と「元気」を伝えようと、毎日の練習に取り組んできました。本番の発表では保護者の皆さんの温かいまなざしが子どもたちのさらなるがんばりにつながりました。
3	1年	『こころを１つにがんばろう　みんななかよし　すてきな　なかま　１年生８３名』 ・斉唱　「さんぽ」 ・合奏　「ぶん　ぶん　ぶん」 ・斉唱　「フルーツケーキ」「ベストフレンド」	練習のときから「声」「動き」「顔」の３つのことに気をつけて取り組みましょうと話をし、心を一つにして立派に発表することができました。発表を通して、努力することの大切さ、力を合わせるとすばらしい力になることを実感することができました。
4	2年	『心をひとつに』 ・音読劇　「スイミー」 ・歌　「きぼうのうた」	国語「スイミー」を２年生全員で劇にしました。よく伝わるように声の出し方や動きなど何度も練習しました。一番いい姿を保護者の皆さんにご覧いただけたものと思っています。物語を読む楽しさと表現する楽しさを今後につなげていきます。
5	5年	『～繋ぐ～　声や音が自分と友達を繋ぐ　５年生９０人で心を合わせ演奏を届けます』 ・輪唱　「花のおくりもの」 ・リコーダー奏「星笛」 ・器楽合奏　「虹」「校歌」	練習が始まった頃は大変でしたが、日に日に上達しました。宿泊学習でもそうでしたが、友達と協力したり力を合わせたりして何かをやり遂げると達成感を味わえることを知りました。子どもたちの自信につながるよい機会となりました。
6	6年	『心をひとつに 伝えよう　奏でよう　輝く６年生！』 ・鼓笛演奏 ・リコーダー奏「希望のうた」 ・合唱　「ふるさと」	子どもたちは自分で改善点を考えながら練習してきました。本番は心を一つにして演奏したりハーモニーを感じながら歌を歌ったりすることができました。すばらしい発表で心が熱くなりました。目標に向かって努力する大切さを改めて感じました。

ー小と一中、ともに連携し、教育の質を高めながら同じ目線で子どもを育てる

11月21日(火) 6年生中学校体験入学　11月24日(金) ー小・一中合同授業研究会

須賀川市は、小学校も中学校も一つになって一人残らずの子どもの９年間の学びと育ちに責任を持ち、子どもの成長を促していくとの考えから、小中一貫教育（小、中学校の連携の強化）を推進しています。本校の子どもはほとんどが第一中学校へ進学することから、第一中学校と緊密な関係を持ちながら協力して教育活動を推進しています。

そのような中、１１月２１日（火）には6年生が中学校に出向き中学校体験入学、１１月２４日（金）には本校６年生３学級と特別支援学級２学級が教室を開き、授業を実践した上での一小・一中合同授業研究会が開催されました。今後、さらに一小・一中合同学校評議員会を実施し、教育活動推進上の諸問題について意見をいただき協議する予定です。

▲ 中学校体験入学　　▲ 一小・一中合同授業研究会

ー授業雑感ー

○ 一小・一中合同授業研究会は、須賀川市授業づくり研修会を兼ねており、当日は、市内ばかりでなく遠くは宮城県からも授業の様子を参観に来校者がありました。授業後、埼玉大学名誉教授（市教育研修センター指導主事）庄司　康生　先生が授業について感想の文章を届けてくれました。（一部抜粋・書き換えあります）

不可能を可能にするミッション（M）　インポッシブル（I）

授業づくり研修会(第一小学校)で、すばらしい学びのＭＩに出会いました。「これから学習を始めます」「お願いします」のやわらかい声から、探究の学びが始まりました。一中に体験入学したばかりの子どもたちは、中学校レベルの問題にチャレンジします。問題を伝えるとすぐグループの探索的会話が始まり、聴き合い、支え合い、深い探究の学びが最後まで続きました。チャレンジが終わって先生が「これでみんな中学校に行けるね」と言うと、中学校に胸ふくらませる顔つきになった子どもたちは「もう少し、小学校にいたい」という声ももらしました。中学校への憧れと期待とともに、こんなに深くみんなと学び合える小学校にももう少しいたい」そんな感じが伝わってきました。

事後のリフレクションも、有意義なコメントや質問が出され充実しました。質問の一つに、わからない子に他の子が教えたり、先生が、わからないグループに他のグループの子が教えるようにしていたが、「教え合い」にならないのはどうしてかというご質問がありました(教え合いは、学び合いと似て非なるものです。)。

先生や参観した先生方との話し合いが私に教えてくれました。わからない子の苦しさを他の子もみんな感じて共有しているから。それに、みんななんとか応えようとしているから。その子がわかるように伝えるにはどういう言葉を使えばいいか深く考えているから。その子がわかった時、自分もうれしいから…。聴き合い、支え合う子どもたちは、みんながつながるクラスの学びを生み出しているのです。

わからないことを大切にし、探究の対話を交わし合う子どもたち。一小で圧倒的に育った全員の子どもたち。子どもたちの学びを見ながら、この子たちは２１世紀のこれからの半ばを、こうやってつながり合い支え合いともに生きていくのだなぁと涙ぐみました。

-体験を通して学ぶ-

二学期も各学年が計画的に外に出向き実際に見たり、人の話を聞いたりして体験を通して学ぶ学習を多く取り入れました。

子どもは日々の小さなできごとの積み重ねを通して学び育っていきます。ですから、日々の授業においては、壮大な何かを求めるというよりは、子どもの小さな気づきや発見を大切にしなければなりません。その際、直接自然や人に触れ体験的に学ぶことは子どもをより夢中にさせ、生きて働く経験となることからとても大切なことだと考えます。紙面では主な校外学習について写真のみでの紹介となりますが、学校ホームページや各学年だよりで詳しく紹介しておりますのでそちらをご覧いただきたく思います。

＜１年＞ 秋さがし　空港公園・岩瀬牧場

＜２年＞　芋掘り体験・まちたんけん

＜３年＞　松明あかし見学・ベニマル見学

＜４年＞自然体験学習・なりたい仕事を調べ隊

＜５年＞　宿泊学習・自動車工場見学

＜６年＞須賀川を調べ隊・薬物乱用防止教室

＜特別支援学級＞苔玉つくり

ー入賞おめでとうー

＜岩瀬地区読書感想文コンクール＞

・ 特選　大野　晴日（６年）　武田　朋樹（５年）

＜岩瀬地区児童作文コンクール＞

・ 特選　宗形　海美（６年）　安食　龍汰（５年）

・ 準特選　数澤　由芽（６年）　車谷　康多（５年）　三浦克祉朗（４年）

▲ 放送での賞状伝達式

＜福島県理科作品展＞

・ 入選　志田　湊（５年）

＜須賀川市体育協会表彰者（トランポリン競技）＞　・ 優秀選手賞　大槻夕夕菜（６年）

＜福島県読書感想文コンクール＞　※ 岩瀬地区読書感想文コンクールにおいて二人は特選でした。

・ 準特選　武田　朋樹（５年）　・ 佳作　大野　晴日（６年）